

講義コード Course code	0F3095102
講義名 Course title(Japanese)	民法法概論
英文講義名 Course title (English)	Introduction to Civil Law
(副題) Course subtitle	(法学部専門科目)
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	前期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	月曜日
時限 Period	4 時限
担当教員 Lecturer(s)	

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	茂木 明奈		法律学科

授業の内容（主題） Course description 一般の人と人との間の法的な関係を規律する民法は、民法や商法をはじめとした民事実体法と、民事訴訟法をはじめとした民事手続法とからなります。この講義では、民法法科目の基礎的な事項を学習します。
到達目標 Course objectives 民法法科目の履修に必要な用語や概念など、基礎的な事項の着実な習得が目標です。 ＊民法法科目の履修に必要な用語や概念を説明できる ＊法律の学習に慣れる
授業計画表 Course plan

回 Class session s	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	法律とは？さまざまなルール	予習：法律とは何か、どうやって作られるのかなど、高等学校の公民科に相当する分野を確認する（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）、教科書の関連する部分を読む（120分）
第2回	条文の読み方	予習：六法を開いて特徴的な法令用語を見つける（120分）、教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）

第3回	民法の原則	予習：教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第4回	権利・義務とその主体	予習：未成年者の特徴について考えてみる（30分）、教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第5回	意思表示 / 法律行為	予習：契約を結ぶさいに何を考えてどう行動しているか考えてみる（30分）、教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第6回	意思表示 / 法律行為の無効・取消し	予習：教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第7回	家族法の基礎① 親族	予習：「家族」とは誰を指すか考えてみる（30分）、教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第8回	家族法の基礎② 相続	予習：人が死亡した時に何が起きるか考えてみる（30分）、教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第9回	契約法の基礎① 契約の成立と効果、種類	予習：世の中にはどのような契約があるか考えてみる（30分）、教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第10回	契約法の基礎② 契約内容が守られない場合	予習：教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第11回	物権法の基礎	予習：教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第12回	不法行為法の基礎	予習：世の中にはどのような「賠償」問題があるか考えてみる（30分）、教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第13回	時効	予習：教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第14回	民事の裁判	予習：どのような裁判所があり、そこで何が行われているか考えてみる（30分）、教科書の関連する部分を読む（120分） 復習：講義で扱った事項を整理する（120分）
第15回	まとめ	授業と教科書のこれまでの該当部分を予習・復習する（各120分）

授業計画コメント

Course outline

特になし

授業の進め方

Session plan

教科書・六法と、プリントやスライド等を用いた講義形式で、質問等の内容に対するフィードバックを行いながら進めます。

アクティブラーニング

Active learning

予習・授業・復習の各場面において、民事法の分野における法律用語や各種の制度を調査するだけでなく、制度や時事等に関する問題を発見し、あるいは提示されて、その解決方法を自ら考える作業も要求されます。

情報検索をしてもらったり、問題に取り組んでももらったりします。

授業時間外の学修（予習・復習等）

Preparation and review outside classroom hours

各回の内容について、教科書の該当部分や各回で提示するチェックポイントを参照して予習（120分程度）・復習（120分程度）し、講義内容の理解を深めること。

教科書等

Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	民法法入門（第8版補訂版）	野村豊弘	有斐閣	2021年	1,800円	978-4-641-22198-7
2	『ポケット六法』または『デイリー六法』のいずれか		ポケ六：有斐閣、 デイリー：三省堂	令和4年版（最新版） を買うこと	2,000円程度	
3						
4						
5						

（必ず購入すべきもの）

Materials required for sessions

上記教科書等の1・2（2は、どちらか1冊でよいので注意）

参考図書

Reference book(s)

法制執務用語研究会『条文の読み方（第2版）』（有斐閣、2021年）（900円）
 高瀬文人編『ひと目でわかる六法入門（第2版）』（三省堂、2018年）（800円）
 三省堂編修所編『デイリー法学用語辞典（第2版）』（三省堂、2020年）（1700円）
 金子宏他編『法律学小事典[第5版]』（有斐閣、2016年）（4500円）
 法令用語研究会編『法律用語辞典[第5版]』（有斐閣、2020年）（5200円）
 井田良=佐渡島沙織=山野目章夫『法を学ぶ人のための文章作法（第2版）』（有斐閣、2019年）（1900円）
 横田明美=小谷昌子=堀田周吾『法学学習Q&A』（有斐閣、2019年）（800円）
 潮見佳男=中田邦博=松岡久和編『18歳からはじめる民法（第4版）』（法律文化社、2019年）（2200円）等

成績評価方法および評価基準

Evaluation criteria

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率％ Evaluation ratio	70%	30%	0%	0%

成績評価の方法に関する注意点

Assessment criteria

定期試験が実施困難な場合は、最終授業日にWebを用いた最終試験を実施する予定です。

各種試験では、用語や概念の理解を問う空欄補充問題・正誤問題や、条文の解釈・適用のプロセスに関する理解を問う論述問題など、いくつかの形式で出題する予定です。

課題のフィードバック

Feedback

質問等の内容に対するフィードバックを行いながら授業を進めます。
 試験後に解説を配布します。

学生へのメッセージ（履修上の心得）
Message to students (class guidelines)

六法を持参し、条文が出てきたらとにかくこまめに引くこと。

科目のレベル、前提科目など
Level / Prerequisites

基礎的な科目です。

キーワード
Keyword(s)

契約、不法行為、家族、民事訴訟